

ここからは中山眼科です

医療 Q&A

-第5回-

白内障(老眼)の新しい治療法 『多焦点眼内レンズ』

裸眼で遠くも近くも見える多焦点眼内レンズ

白内障の新しい治療法として「多焦点眼内レンズ」が注目を集めています。

白内障の手術で一般的に使用される「単焦点眼内レンズ」にはピントを合わせる調節力がないため、遠くにピントを合わせた場合、手元を見るための老眼鏡が必要となります。その欠点を解消する目的で開発されたのが「多焦点眼内レンズ」。遠くと近くに両方にピントが合うので老眼鏡も不要です。

最近では白内障手術を受けられた多くの方が多焦点眼内レンズを希望され、ほぼ全員が眼鏡の要らない快適な生活を送られています。



▶多焦点眼内レンズ(回折型)イメージ

手術にはより高い精度が必要

非常に高性能かつ繊細な多焦点眼内レンズの効果を最大限に発揮するために、ピント合わせが重要です。わずかな近視や乱視が影響して視力が出にくい場合は、提携している医療機関をご紹介します。

日帰り手術が可能

手術は従来の白内障手術と同様に点眼麻酔で行い、痛みはほとんどありません。日帰り手術が可能です。希望される方は1泊入院することもできます。

先進医療の認定施設は経済的負担が軽減

多焦点眼内手術を用いた白内障手術は、厚生労働省から「先進医療」として認定されています。レンズが非常に精密なデザインで高価なため、手術費用は保険適応外となりますが、当院のような先進医療の認定施設で手術を受けた場合、生命保険などの「先進医療特約」の対象となります。手術費用が全額または一部給付されますので、加入している保険会社にお問い合わせください。実際に当院でも、先進医療特約により、手術費用の自己負担なしで受けることができます。



▲単焦点眼内レンズの見え方のイメージ



▲多焦点眼内レンズの見え方のイメージ

眼科
白内障手術・硝子体手術
中山眼科
院長 中山 雅雄 先生
日本眼科学会認定眼科専門医
眼科PDT(光線力学療法)認定医

福山市川口町4丁目21番31号
☎(084) 954-9000
<http://www.nakayama-ganka.jp/>

●診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前(9時~12時)	○	○	○	○	○	○
午後(15時~18時)	○	手術	手術	○	○	-

●土曜午後、日曜、祝日休診